



1 みかんを収穫する垣内義人さん 2 3 共に種無しで皮ごと食べられるぶどう。サクっとした食感であっさりした甘みのリザマート(2)と強い甘味が自慢のシャインマスカット(3) 4 手のひらよりも大きくなる鬼ゆず 5 ぶどう畑を囲むように柑橘類などが栽培されている果樹園

# かわちながの ものづくり探訪

Made in Kawachinagano

13

## 農業で地域の 発展に貢献したい

垣内農園

関西サイクルスポーツセンターの程近く、日野地区にある垣内農園。垣内義人さんかきうちよしひとは大学4年生の時に父親の周教さんしゅうけうを亡くしたことから、卒業後すぐに農業の道へ。「収穫の手伝い程度の経験しかなかったので、1年目は栽培方法など、何が分からないのかも、分かりませんでした」と義人さんは振り返ります。今は順調な果樹栽培ですが、始めたころは問題も。「リザマートというぶどうを栽培している時、収穫前にぶどうの実が割れるんです。府に相談し、助言をもらって何とか問題を解決できました」

と垣内さん。それは乾いた土地に急に雨が降ると根が一気に水を吸収し、実が急に大きくなるからでした。常時土壌が乾きすぎないようにした結果、割れることはなくなったとのこと。また、雪でぶどうの棚が押し潰されたことも。それ以後は棚にかける防鳥網は必ず冬前に撤去するようになったそう。これらの経験から、手をかけ対策を考えて果樹に向き合えば、結果や効果が目に見える形で現れるということがわかったといいます。

農業を始めて5、6年目の圃場整備の完了を機に、ぶどう畑を拡大、ぶどうをメインにしなごらも、6月はすもも、7月は桃、ブルーベリー、8・9月はぶどう、10月は柿、11月から2月に柑橘類というように収穫期を適度にずらして果樹栽培を続けています。

ぶどう栽培のこだわりは完熟するまで早採りはしないこと、収穫時は一房ご



### 垣内農園

主な販売場所 アグリかわちながの、あすかてくるで河内長野店  
販売時期 かんきつ類(11月～2月中旬)、ぶどう(8月～9月)、季節のジャム(通年)  
※季節のジャムは菓子工房ナポット(錦町25-4)で販売  
※問い合わせは産業観光課へ

とに一粒とって、自分の舌で味を確認すること。それはまるで、自分の作品に責任を持つ職人のような。また農薬の使用は最小限に抑え、化学肥料や除草剤は一切使わないのだとか。

「いい果物を作ろうとつきつめる中で、いろいろな人と関わりお話をし、それを仕事に反映していくことが楽しい。高齢化が進んで、農業をする人が減っているの、村おこしではないが、日野で頑張り続けることで、地域の発展に貢献できれば」と垣内さん、チャレンジはまだまだこれからです。



▲これから旬の柑橘類や柿、奥さんのみつ絵さんが農園の果物を加工・販売する季節のジャム